

令和4年度 第1学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代の国語	集中して授業に取り組んでおり、授業の進捗にも肯定的な回答が多く見られる。難易度も適切に感じている学習者が多い。少し難しく感じるものも授業に取り入れることで更に発展的な学びにつながるような授業が組み立てられていることが分かる。グループ学習で学びが深まると感じている学習者が多く、今後も効果的に取り入れていきたい。
言語文化	授業に意欲的に取り組んでいる学習者が多いことが分かる。進捗や難易度も適切である。予習を9割以上の学習者が「いつもしている」「時々している」と回答しており、自宅学習が定着してきた様子が伺える。いつも予習をする習慣を着けることだけでなく、復習にも積極的に向かえるような指導を今後も行っていきたい。
地理総合	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進捗に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。「社会の見方に良い変化を生じる」という教科の目標も、前期に比べて肯定的な回答が増えた。生徒の主体的な学習活動を取り入れながら、今後もより良い授業を目指していきたい。
歴史総合	授業の取り組み状況は概ねよい回答であった。授業の難易度に関して、6割がちょうど良いする一方、約3割が難しいと回答していて、難しいテーマを安易にかみ砕かない取り組みが反映できているように思う。グループワークなどの活動は、クラスごとに差異があるかもしれない。授業を担当する教員の個性を生かしつつ、より連携を深めていきたい。
数学Ⅰ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進捗・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
探究数学A	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進捗・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
物理基礎	集中して授業に取り組んでいる。加速度という新しい概念を学習するために理解度に幅があるが、個に応じた指導をしていきたい。今後は物理基礎の醍醐味である力学に進んでいく予定であり、科目の楽しさ、奥深さを伝える授業作りをしていきたい。
化学基礎	物質量が入ってきて、生徒も難しいと感じているようである。演習問題を多く取り入れるなど、生徒に自信をつけさせ、改善していきたいと考えている。
生物基礎	前期は暗記事項が多かったが、後期の遺伝分野では考えて理解する内容が多くなった。暗記だけじゃない生物の魅力を伝えていきたい。YouTube解説動画もさらにわかりやすく作成して、生徒の復習に役立てたい。
体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。タブレット等の効果的な使用については今後の検討課題となるが、班のメンバーとの協力の中で、活発な生徒主体の取り組みができてきた。技能向上の楽しさを味わいながら、時年次へとつなげていきたい。
保健	多くの生徒が集中して取り組んでいるようである。新課程の中、難易度・進捗は適度である。しかしながら多少考慮をしながら授業を展開していきたい。グループ学習、調べ学習等を取り入れながら、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成したい。
音楽	多くの生徒が集中して取り組んでいる。グループ学習にも積極的に取り組んでおり、教え合いながら高め合っていく姿が多く見られる。楽器やICT機器等学習環境の整備にも努め、様々な芸術分野に関心を持って生涯にわたり芸術を愛好していく態度を養いたい。
美術	多くの生徒が集中して取り組んでいるようである。課程の中、難易度・進捗は適度である。しかしながらグループ学習を取り入れた授業を実施できていないのが課題になる。個別の創造的な活動とグループ学習を通して発想豊かに制作ができる授業を展開していきたい。
書道	多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習は昨年よりは多く実施しており、生徒からの反応も良い。個別最適な学びと協働的な学びの一体化をさらに進めたい。創造的な活動を多く取り入れ、生徒たちの意欲をより増し、芸術的な思考が活性化できるよう今後も展開していきたい。
英語コミュニケーションⅠ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進捗・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、また、授業への関心・意欲も高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合が高い。さらに予習・復習を促しながら、英語運用能力の向上に向けて、発展的な内容に取り組んでいきたい。
論理・英語Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習・復習のさらなる徹底を促しながら、効果的な活動を検討し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
家庭基礎	多くの生徒が授業に集中して真摯に取り組んでいる様子が伺える。今後の授業を通して、基礎的・基本的な知識・技術を習得し、様々な課題への問題解決に向けて、的確な判断力が育成できるような授業を展開をしていきたい。
情報Ⅰ	前期同様に多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き生徒の興味関心に応えられる授業を行ってきたい。プログラミング実習は前期と比べて高度な内容となり苦戦している生徒も出てきたがITでしっかりと理解できるようにプログラミング的思考力の育成に努めたい。

令和4年度 第2学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	様々な領域の硬質の文章や小説世界を読み解くことを、生徒たちが主体的に行っている様子がわかる。今後も、思考の広がりや深まりにつながる授業を目指したい。
古典B	読解の基礎を大切にしながら作品世界に深く分け入る楽しさを、生徒たちが実感しているようである。生涯に渡って古典に親しむことにつながるような授業を今後も目指したい。
世界史A	概ね良好な回答を得たと考えている。「社会の見方に良い変化を生じる」という教科の目標も、前期に比べて肯定的な回答が増えた。生徒の主体的な学習活動を取り入れながら、理解や意欲が高まり、かつ学習の深さも得られるように授業改善を行っていききたい。
世界史B	概ね良好な回答が多かった。多くの生徒が意欲的に取り組み、興味・関心も深まっていたが、少数ではあるが、理解や取り組みに困難を抱える回答も見られた。生徒との対話を大切にしながら、今後も教材研究や授業改善に努め、歴史への興味・関心や理解が深まる授業を行っていききたい。
日本史A	前期同様、座学形式の授業はほとんど行わなかった。グループ分けを行い、教科書の歴史的事件については鳥取県に関する原史料の読解、発表を行う授業を数多くおこなった。授業の内容・進捗・難易度などに対し、概ね満足という結果であった。今後も教科書の記載に沿いつつ、本県にもそれらの歴史的事件が関わることを意識させ、同時代の資料活用などを通じて、歴史に対する理解が深まるように気を配っていききたい。
日本史B	授業改善の結果を反映した良好な回答を得たと考えているが、授業理解等について分かりづらさを訴えている回答や興味関心が高まっていないという回答も少数ながら見られた。今後、さらに暗記では対処しきれなくなることが予想される。時間的な制約はあるが、ペアワークの機会を取り入れ、生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていききたい。
地理A	全体的にみると、概ね良好（肯定的）な回答ではあった。後期は図書館での「調べ学習」を行い、生徒は主体的に取り組んでいた。今後とも授業方法や教材なども改善していききたい。
地理B	全ての生徒が授業に集中して取り組んでいると回答していた。難易度や進捗に関しても「ちょうどよい」と回答している生徒が9割以上であった。興味・関心が高まるように生徒たちにとって身近に感じられる授業展開になるように工夫したい。
倫理	授業に集中して取り組むことや授業の難易度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。今後はペア（グループ）ワークなどの授業形式にも取り組みたい。
数学Ⅱ	授業内容が高度化してきて、予習から復習へと学習スタイルがシフトしてきていることがわかる。授業に対して肯定的意見が多いが、主体的な学習者の育成のために、自ら学習するために必要なスタイルの確立のためのサポートをしていきたい。
探究数学B	探究活動などについても積極的に取り組み、生徒の興味関心が高まっていることがわかる。自ら課題解決に向かうことで、数学のみならず課題解決能力の育成に期するような教材開発を心がけていきたい。
数理情報	前期同様に学習する内容は多いが生徒は集中して取り組んでいる。引き続き生徒の興味関心に応えられる授業、教材開発を行っていききたい。
探究物理Ⅰ	難しいと感じている生徒が多いが、集中して取り組んでいるという生徒も多い。「難しいが面白い、難しいが勉強したい」と思わせるような授業を心掛け、生徒の思考力・実践力を高めていきたい。
探究化学Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいるようである。今後はグループ学習やペアワークを多く取り入れながら工夫を凝らした授業を行い、学力向上につながるようにしたい。
化学基礎	進捗・難易度ともにちょうどよいと感じている生徒が多い。今後は実験も取り入れながら工夫を凝らした授業を行い、思考力の向上につながるようにしたい。
探生物Ⅰ	前期とほぼ同様の結果であった。実験やプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れながら工夫をしていきたい。
生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなどもICTを活用しながら、さらに工夫をしていきたい。
地学基礎	進捗・難易度ともにちょうどよいと感じている生徒が多い。今後も生徒の自然現象への疑問や科学的好奇心をとらえ、思考を広げたり探究を深めたりするような授業を展開していききたい。
体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。タブレット等を効果的に使用しながら、3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。
保健	多くの生徒が集中して取り組んでいるようである。難易度・進捗は適度であるが、多少考慮をしながら授業を展開していききたい。グループ学習、調べ学習等の意義・効果が感じられるような授業の工夫を行いながら、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成したい。
コミュニケーション英語Ⅱ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進捗・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、また、授業への関心・意欲も高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合が高い。さらに予習・復習を促しながら、英語運用能力の向上に向けて、発展的な内容に取り組んでいきたい。
英語表現Ⅱ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習・復習の取り組みについて、継続的に指導を行い、学習習慣を身につけていけるような働きかけを行いたい。またさらに効果的な活動を検討し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。

令和4年度 第3学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	前回のアンケート結果とほぼ変わらず、概ね授業は適切に行われ、生徒の学習への取り組みは良好であると言える。古典に比べ、時間をかけて予習や復習に取り組むのが難しい面もあるが、興味を持って文章を読んだり、それをもとに考えることが結果的に予習や復習になるような教材や取り組みを工夫したい。また、あまり理解の進んでいない生徒に対して個に応じた丁寧な指導を考えていきたい。
古典B	ほとんどの生徒が授業の難易度・進度・教員の説明について適切だと感じており、集中して授業に取り組んでいる様子がうかがえた。ただ、予習を丁寧に行う層が減少するなど、他の多くの教科の学習が必要とされる中、古典にかかる学習時間が減少したことは課題である。生徒自身が学習の必要性を感じ、自分にとって適切な方法で学習が進められるよう、手立てを考えていく必要がある。
世界史B	概ね良好な回答が多かった。多くの生徒が意欲的に取り組み、興味・関心も深まっていたが、少数ではあるが、理解や取り組みに困難さを抱える回答も見られた。生徒個々の状況を勘案しながら教材研究や授業改善に努め、歴史への興味・関心や理解が深まる授業を行っていききたい。
日本史B	授業そのものについては授業改善の効果にともなう良好な回答を得たと考えているが、授業理解等について分かりづらさを訴えている回答や興味関心が高まっていないという回答も依然見られた。残りの時間に、ペアワークなどの機会を取り入れ、復習をかねて生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていききたい。
地理B	前回と同様の結果を得た。理解度や学問として追究する意欲については、さらに高い結果が得られるよう工夫していききたい。少し難しいと感じる程度の授業内容を心がけているところであり、授業進度や授業方法等についてはおおむね良好といえる状況であるが、さらに工夫したい。
政治・経済	授業に集中して取り組むことや授業の難易度に関して肯定的な回答が多く、授業進度も適切であった。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。
数学Ⅲ	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、予習や復習、理解度の低下が見られた。大学入試などで数学Ⅲを必要としない生徒が一定数いるものの、普段の学習の取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題を取り組めるようにさせていきたい。
発展数学α	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、予習や復習をする生徒割合の低下が見られた。文系の生徒で数学を試験に必要としない生徒がある一定数いるなかではあるが、予習復習などの取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題を取り組めるようにさせていきたい。
発展数学Ⅲ	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、考査等の成績を考えると、生徒自身が感じている「自分の理解度」や「授業に臨む姿勢」など、認識が甘い可能性がある。また、予習復習の取り組みの改善が急務であり、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題を取り組めるようにさせていきたい。
発展数学β	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、予習や復習をする生徒割合の低下が見られた。文系の生徒で数学を試験に必要としない生徒がある一定数いるなかではあるが、予習復習などの取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題を取り組めるようにさせていきたい。
物理	概ね良好な結果であった。特に科目への興味・関心が高くなった割合が大きく、生徒が学習を進める原動力になっていると考えられる。本校生徒の発達の最近接領域を考慮すると、さらに高度な内容も扱っていききたい。一方で、学習の理解度に応じて個別対応もしていききたい。
化学	生徒の授業に対する意欲、取り組みは概ね良好である。アンケート結果では授業内容が概ね理解できているようだが、考査や模試などの結果を見ると、その後の復習の取り組みがさらに必要なのではと考える。授業内で演習問題に時間を割けないことも反省点としてあげられる。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践 物理基礎	良好な結果であった。少人数クラスの特徴を活かして、個に応じた指導ができている。また、わからないところを質問したり、教えあったりできる雰囲気も醸成されている。
実践 化学基礎	前期より評価が向上しており授業実践の成果が認知されている。演習を中心とした授業を実施しているが、必要に応じて実験やグループワークなどを取り入れ、興味関心を高めて前向きに学習に取り組めるような授業展開の工夫をさらに進めていきたい。
実践 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践 地学基礎	演習中心の授業となっているが、地球・宇宙規模の現象や身近なデータを使用して興味関心を高めながら授業を展開している。今後も問題を解くだけでなく様々な思考が広がるような授業を行いたい。
体育	後期においても男女共修選択制授業を実施した。タブレット等の効果的な使用については今後の検討課題となるが、これまでの取り組みを基本に、リーダーを中心としたメンバーとの協力の中で、活発な生徒主体の取り組みができた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。
コミュニ ケーション 英語Ⅲ	集中して授業を受けている生徒が多く、グループ活動にも積極的に参加している。多くの生徒が既習事項を用いてスピーキングやライティングを行うことに長けており、英語を通してコミュニケーション力も養われている。今後社会に出てから役立つ英語運用能力を身に付けさせるために実践的な場面を想定したアウトプット活動に力を入れていきたい。
英語表現Ⅱ	予習・復習を前提として授業に臨む姿勢が培われている。授業を肯定的に捉えている生徒が多いので、生徒の興味・関心に応えられる様々なテーマを扱って、主体的に学習する生徒を育てたい。また、演習問題だけでなくお互いの成果物を評価し意見が述べられるようなコミュニケーションベースの活動も継続的に導入していききたい。